

東京電機大学
令和7年度 卒業生(既卒者)アンケート結果

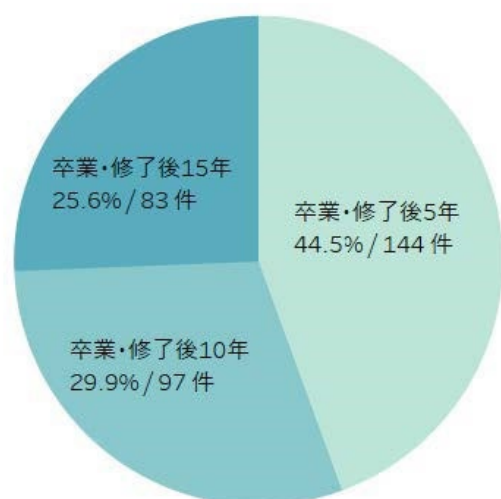
令和7年6月
総務部企画広報担当

■アンケート実施概要

- (1) 調査目的 「大学時代の経験で卒業後役立ったと感ずること」、「卒業生の本学に対する満足度・現在の評価」並びに「卒業後のキャリアの状況等」について調査し、今後の教育活動等の改善につなげることを目的とする。
- (2) 対 象 卒業・修了後、5年・10年・15年を経過した者（合計4,765名）
① 令和01年度卒業生・修了生（令和02年3月卒業・修了）
② 平成26年度卒業生・修了生（平成27年3月卒業・修了）
③ 平成21年度卒業生・修了生（平成22年3月卒業・修了）
- (3) 実施方法 webで実施
※アンケートの依頼は、対象者へ郵送（住所登録者のみ）
- (4) 実施期間 令和7年4月22日～令和7年5月25日
- (5) 回答者数 324名（回答率6.8%）
（①卒業・修了後5年：144名 ②卒業・修了後10年：97名 ③卒業・修了後15年：83名）

以 上

令和 7 年度実施 卒業生（既卒者）アンケート回答数



計 324 件

卒業・修了後 15 年（平成 22 年 3 月卒業・修了）

学部・研究科	回答数	対象数	回収率
工学部第一部	18	436	4.1%
工学部第二部	11	108	10.2%
理工学部	20	415	4.8%
情報環境学部	6	99	6.1%
工学研究科	16	152	10.5%
理工学研究科	7	122	5.7%
情報環境学研究科	2	20	10.0%
先端科学技術研究科	3	12	25.0%
計	83	1364	6.1%

卒業・修了後 10 年（平成 27 年 3 月卒業・修了）

学部・研究科	回答数	対象数	回収率
未来科学部	10	164	6.1%
工学部	24	384	6.3%
工学部第二部	7	94	7.4%
理工学部	20	432	4.6%
情報環境学部	4	161	2.5%
未来科学研究科	9	131	6.9%
工学研究科	14	137	10.2%
理工学研究科	6	91	6.6%
情報環境学研究科	2	22	9.1%
先端科学技術研究科	1	8	12.5%
計	97	1624	6.0%

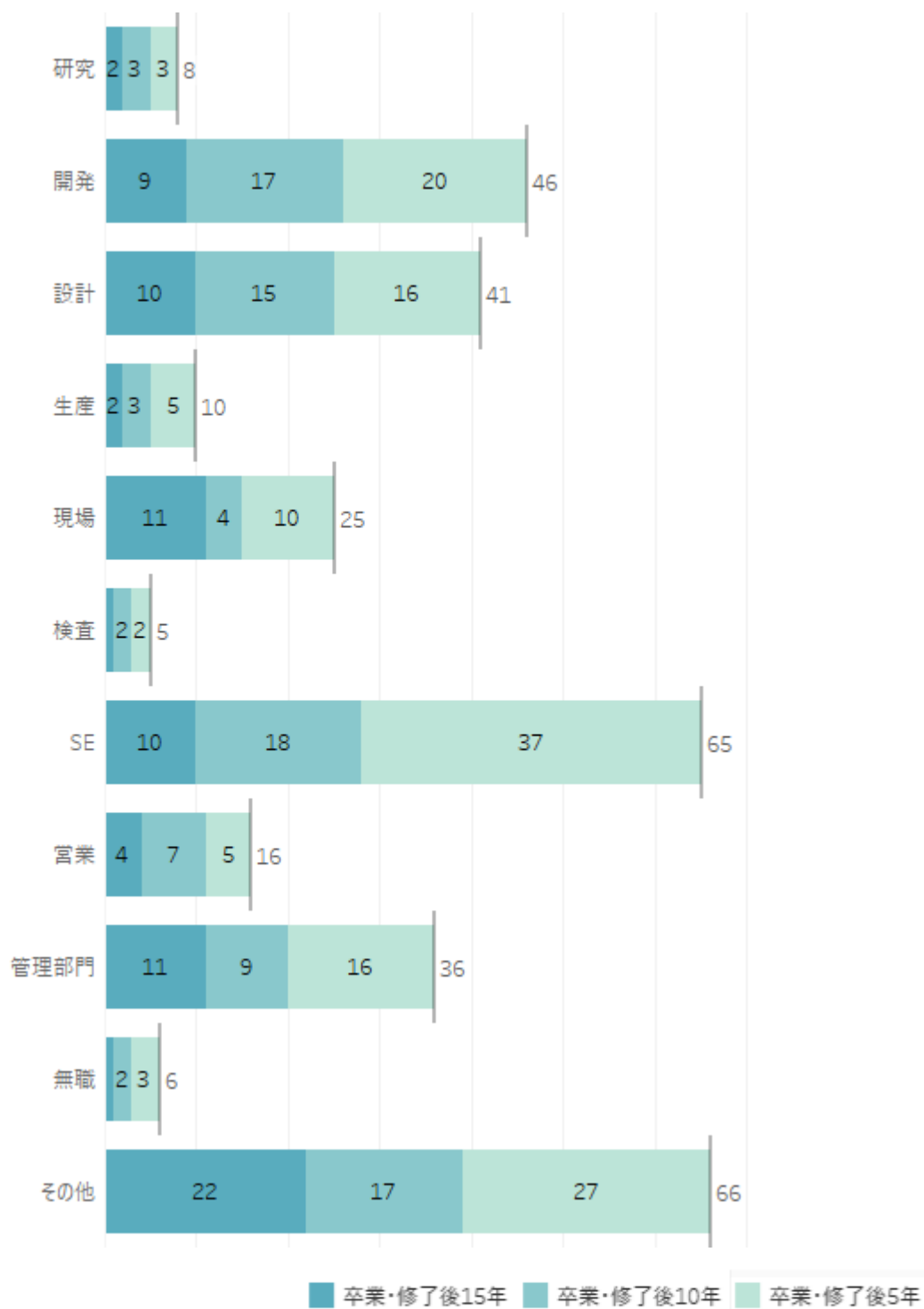
卒業・修了後 5 年（令和 02 年 3 月卒業・修了）

学部・研究科	回答数	対象数	回収率
未来科学部	16	211	7.6%
工学部	37	452	8.2%
工学部第二部	8	92	8.7%
理工学部	38	461	8.2%
情報環境学部	18	214	8.4%
未来科学研究科	7	101	6.9%
工学研究科	13	140	9.3%
理工学研究科	5	77	6.5%
情報環境学研究科	1	24	4.2%
先端科学技術研究科	1	5	20.0%
計	144	1777	8.1%

合計	324	4765	6.8%
----	-----	------	------

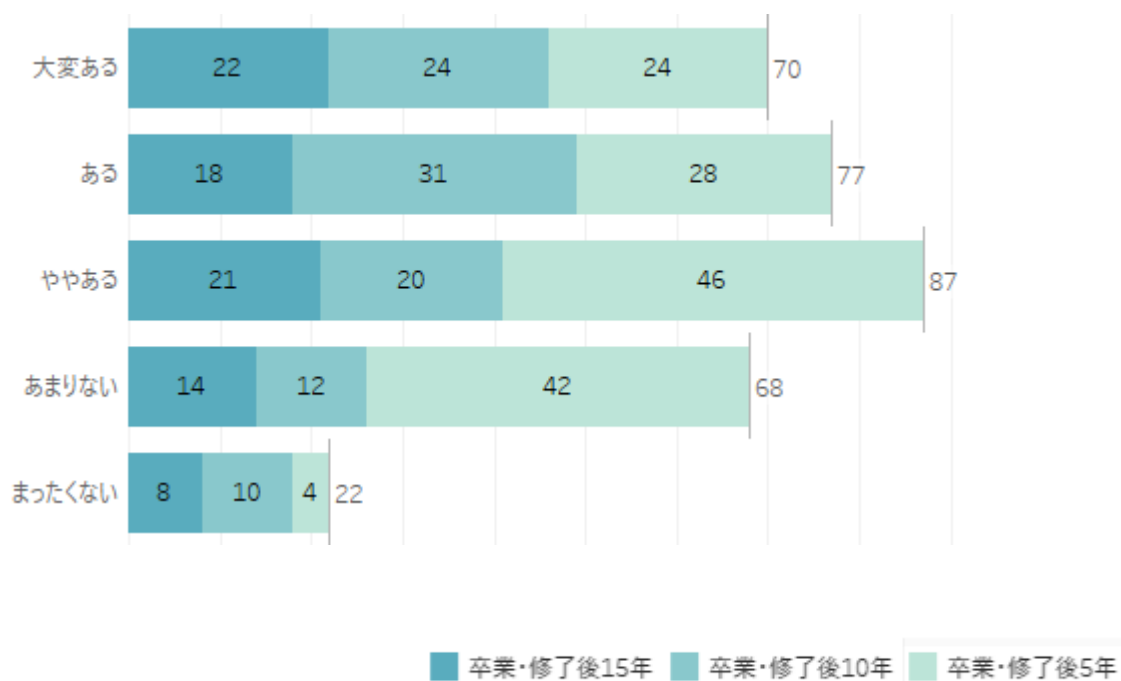
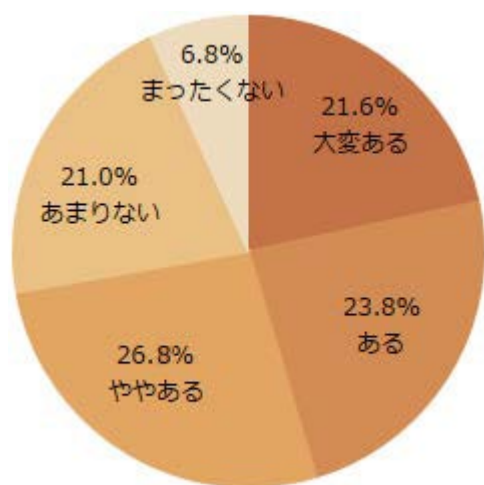
【卒業生（過年度）アンケート集計】

問1 あなたの現在の仕事内容をお教えてください。



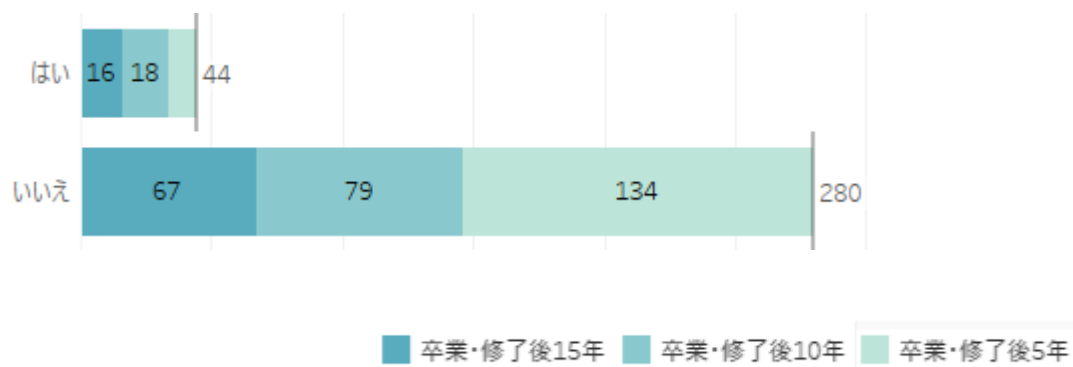
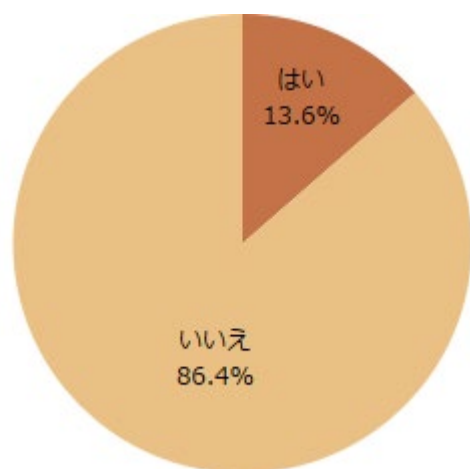
現在の仕事内容は、SE、開発、設計が多い

問2 現在の仕事内容と大学で学んだ専門教育の関連度合いを教えてください。



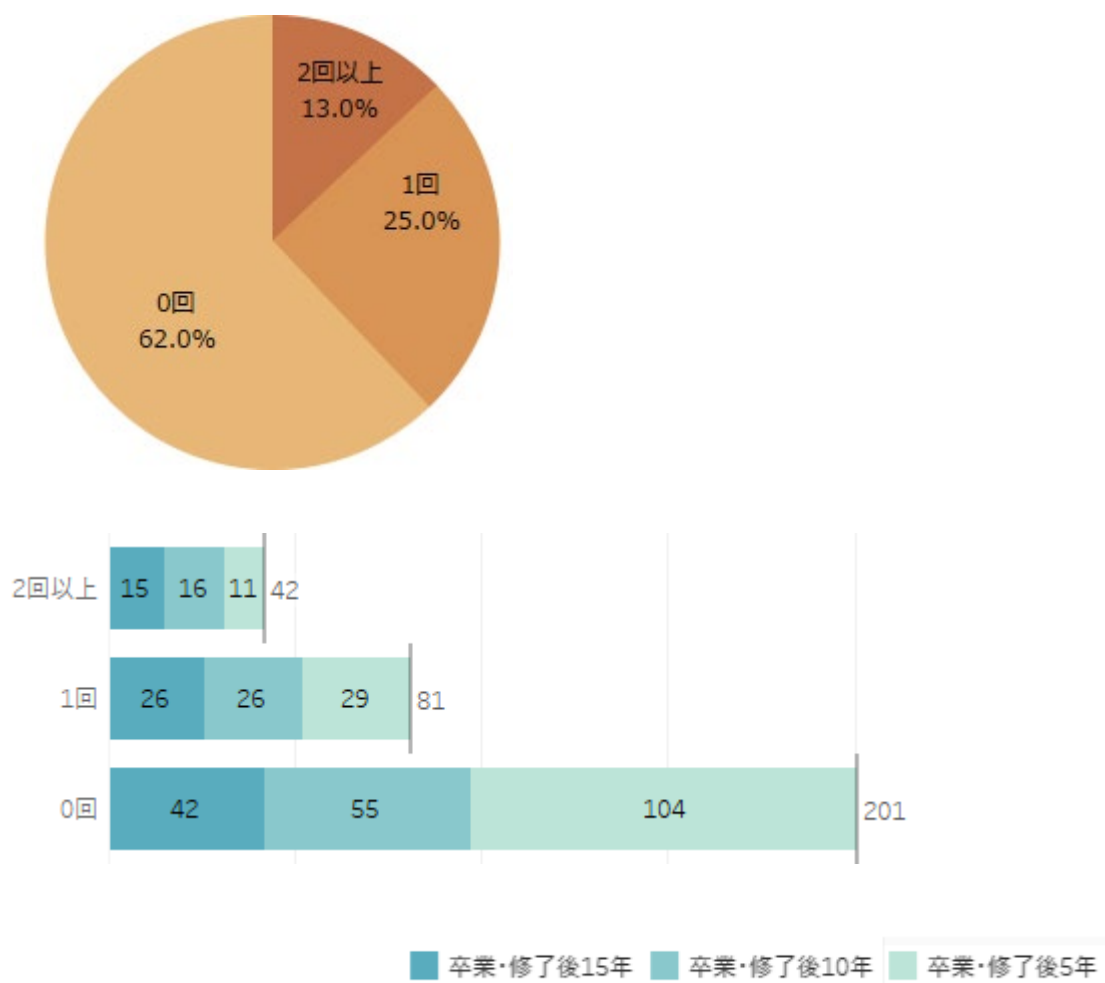
現在の仕事内容と大学で学んだ専門教育との関連は、
「ある」が 72.2%（大変ある・ある・ややある）

問3 海外で仕事をした経験はありますか。



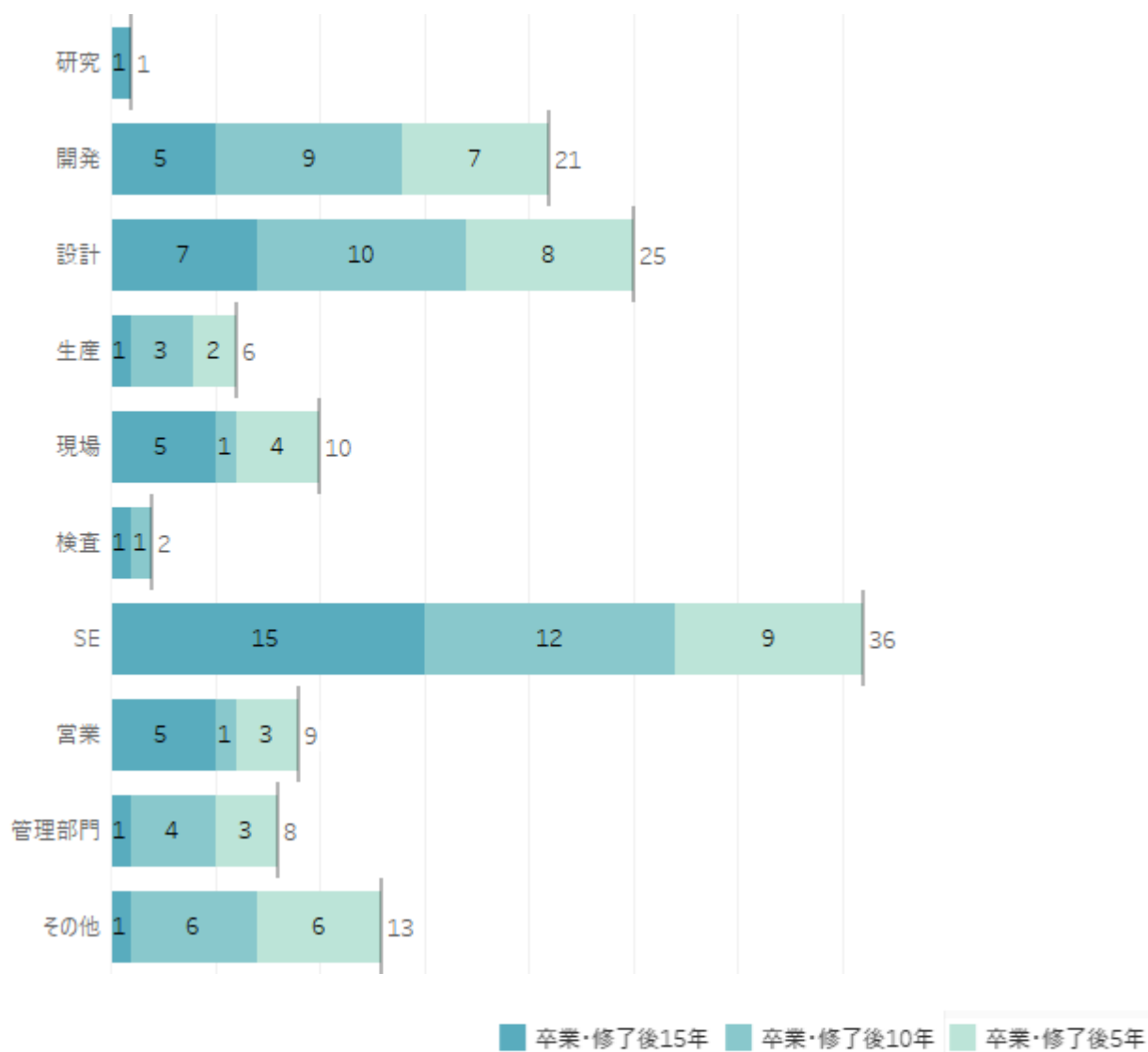
海外での仕事経験があるのは 13.6%

問 4 今までに何回転職したことがありますか。



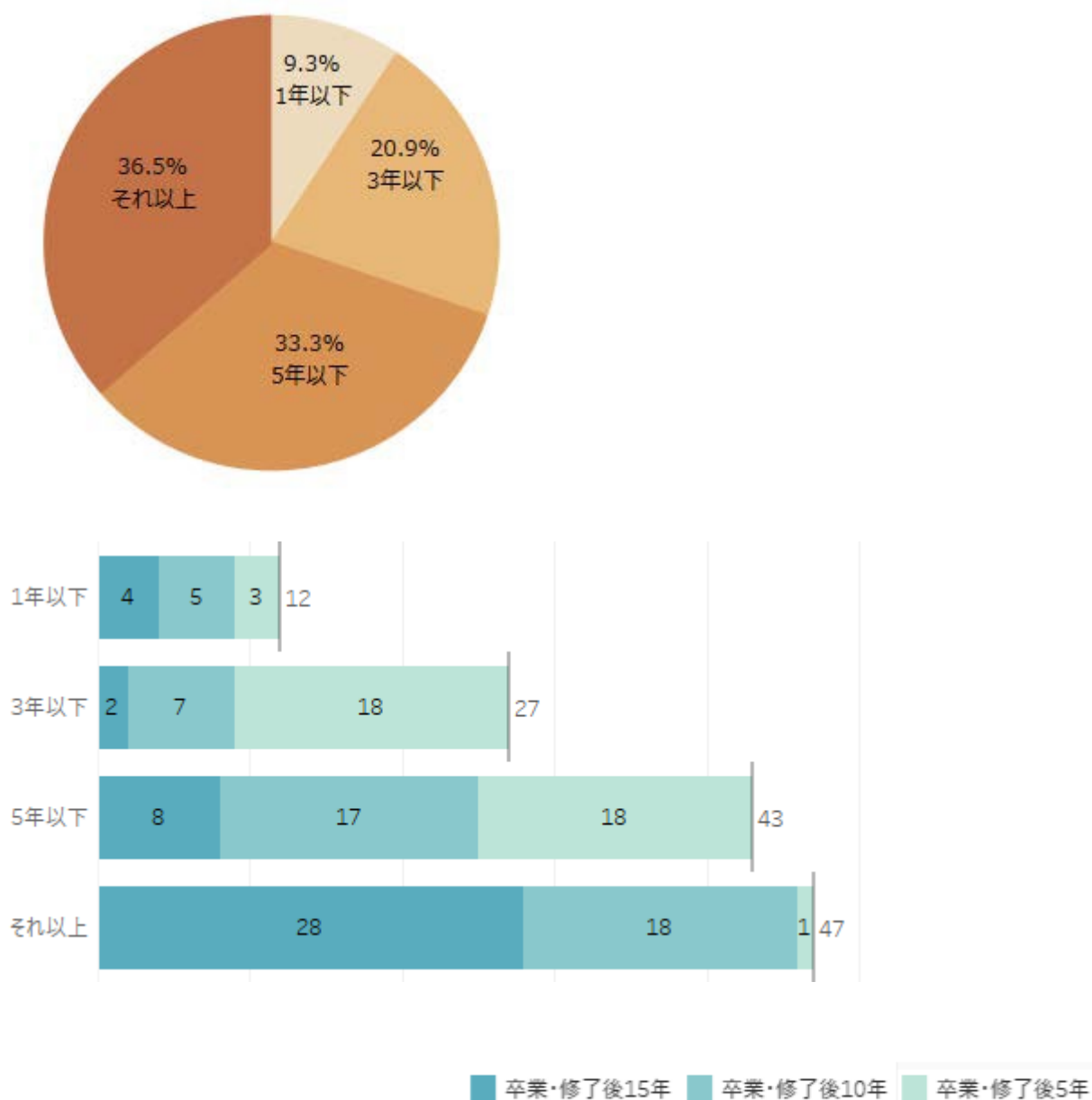
約 4 割が転職の経験あり

問 5 （転職された方にお伺いします。）卒業後、最初の就職先の仕事内容を教えてください。



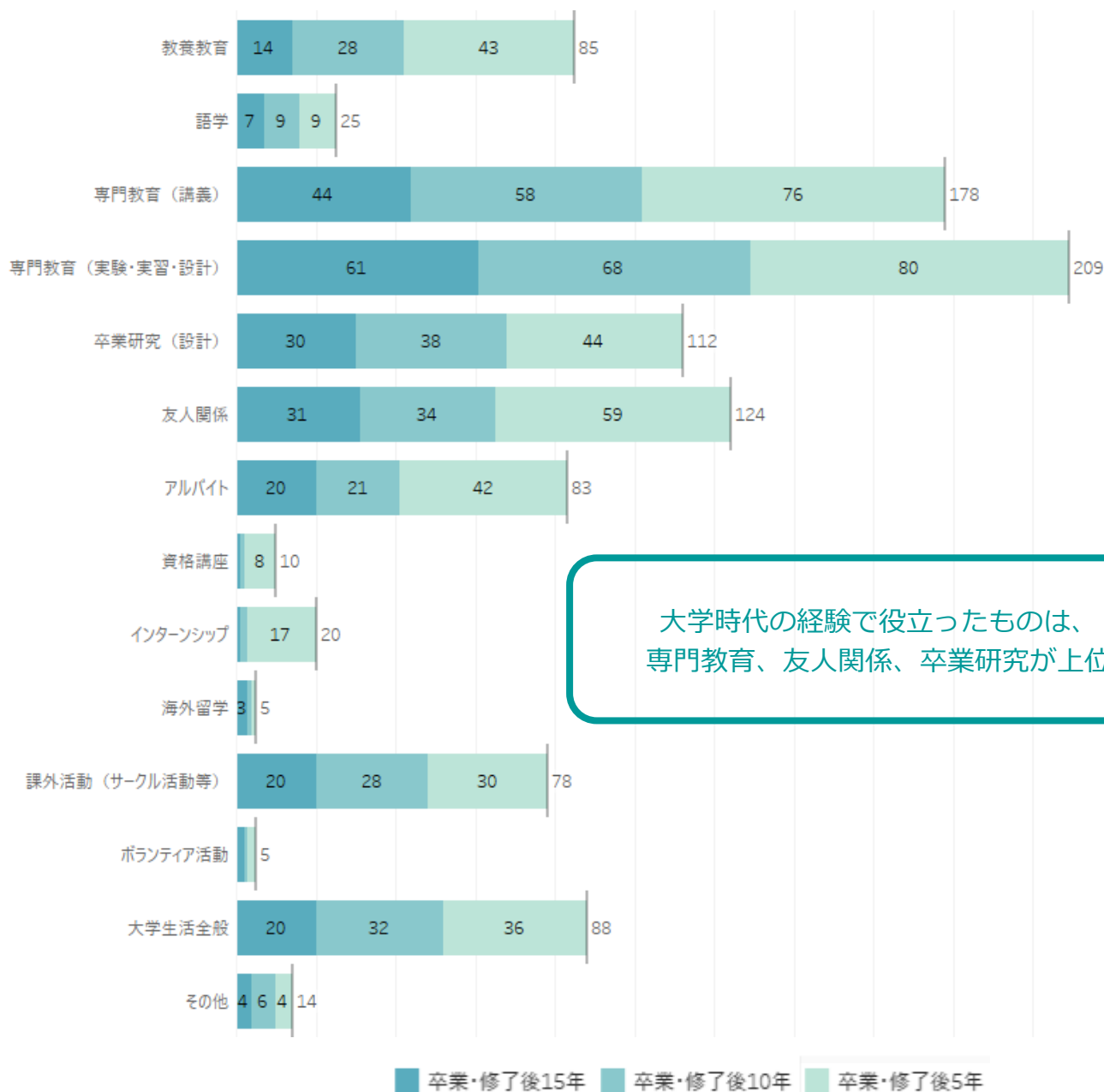
転職された方の最初の就職先の仕事内容は、
SE、設計、開発が多い

問 6 （転職された方にお伺いします。）卒業後、最初の就職先の勤続年数は何年でしたか。



就職後、すぐに転職したわけではないようである
(就職後、ある程度の期間が過ぎてから転職する方が一番多い)

問 7 大学時代の経験で卒業後に役立ったと感じることは何ですか。(複数回答可)

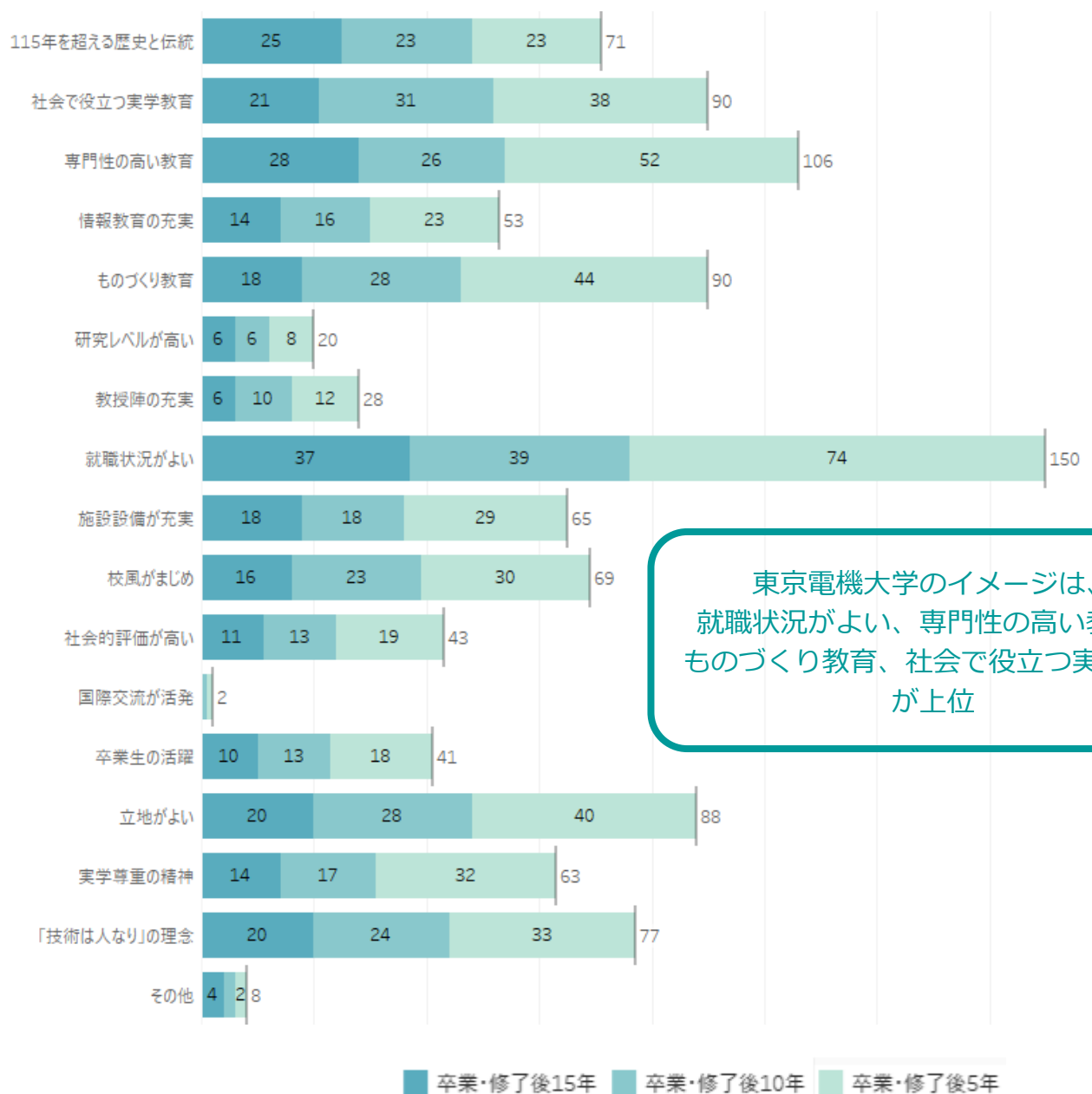


大学時代の経験で役立ったものは、
専門教育、友人関係、卒業研究が上位

「その他」の回答

IDC ロボットコンテスト／TDU Space Project でのチームリーダーとしての活動／レポート地獄／飲み会幹事／海外発表／教授との会話（会社で働かされていた先生で、海外での生活や管理職での苦労などを教えていただいた。また人生観も大いに勉強になった。）／教職課程／就職活動／専攻していた分野の知識／大学で学んだこと／有志活動（ものづくりワークショップ）

問 8 現在の東京電機大学のイメージにあてはまるものは何ですか。(複数回答可)

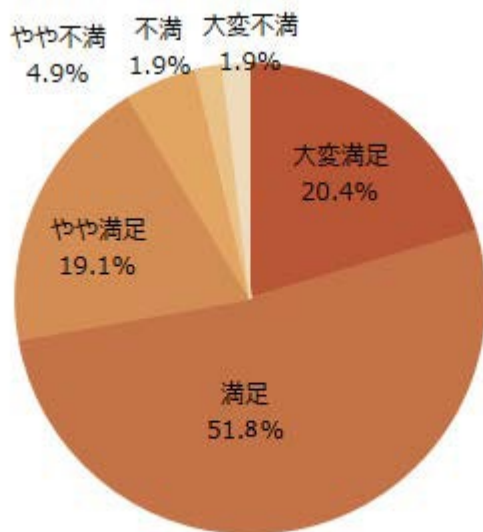


東京電機大学のイメージは、
就職状況がよい、専門性の高い教育、
ものづくり教育、社会で役立つ実学教育
が上位

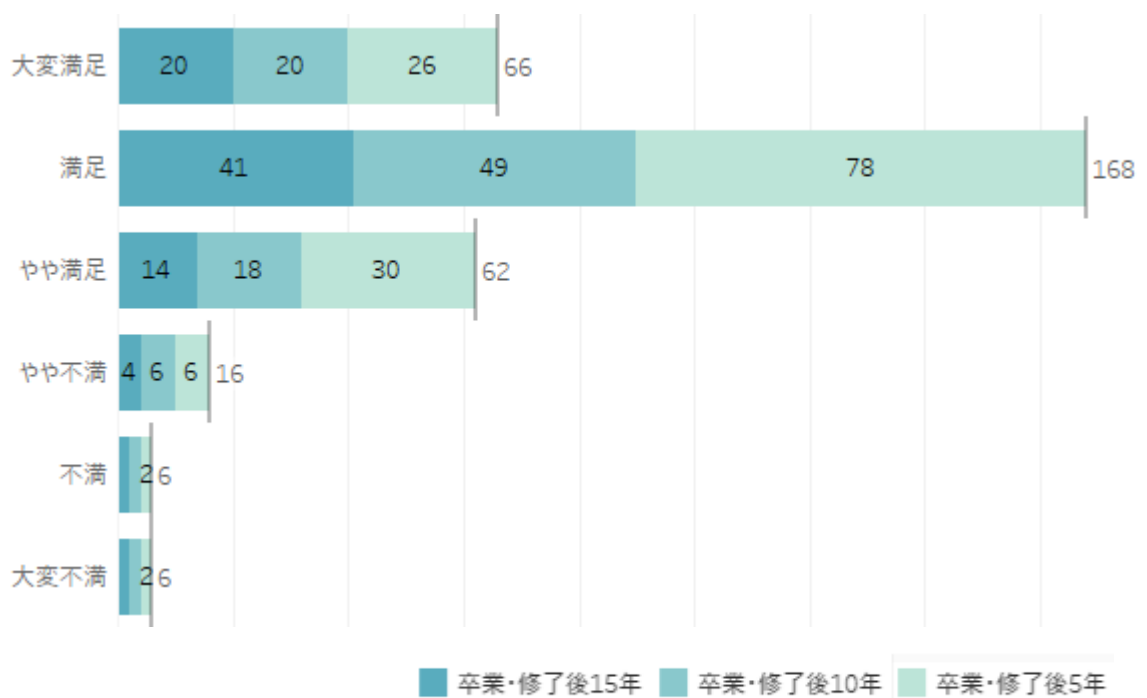
「その他」の回答

学生の積極性が低い／個性の尊重（得意分野を尊重してくれる）／三流大学／就職に強いは嘘／情けない／足立、北千住／大企業に就職すると、出身大学にコンプレックスがあり、大学名を言えない

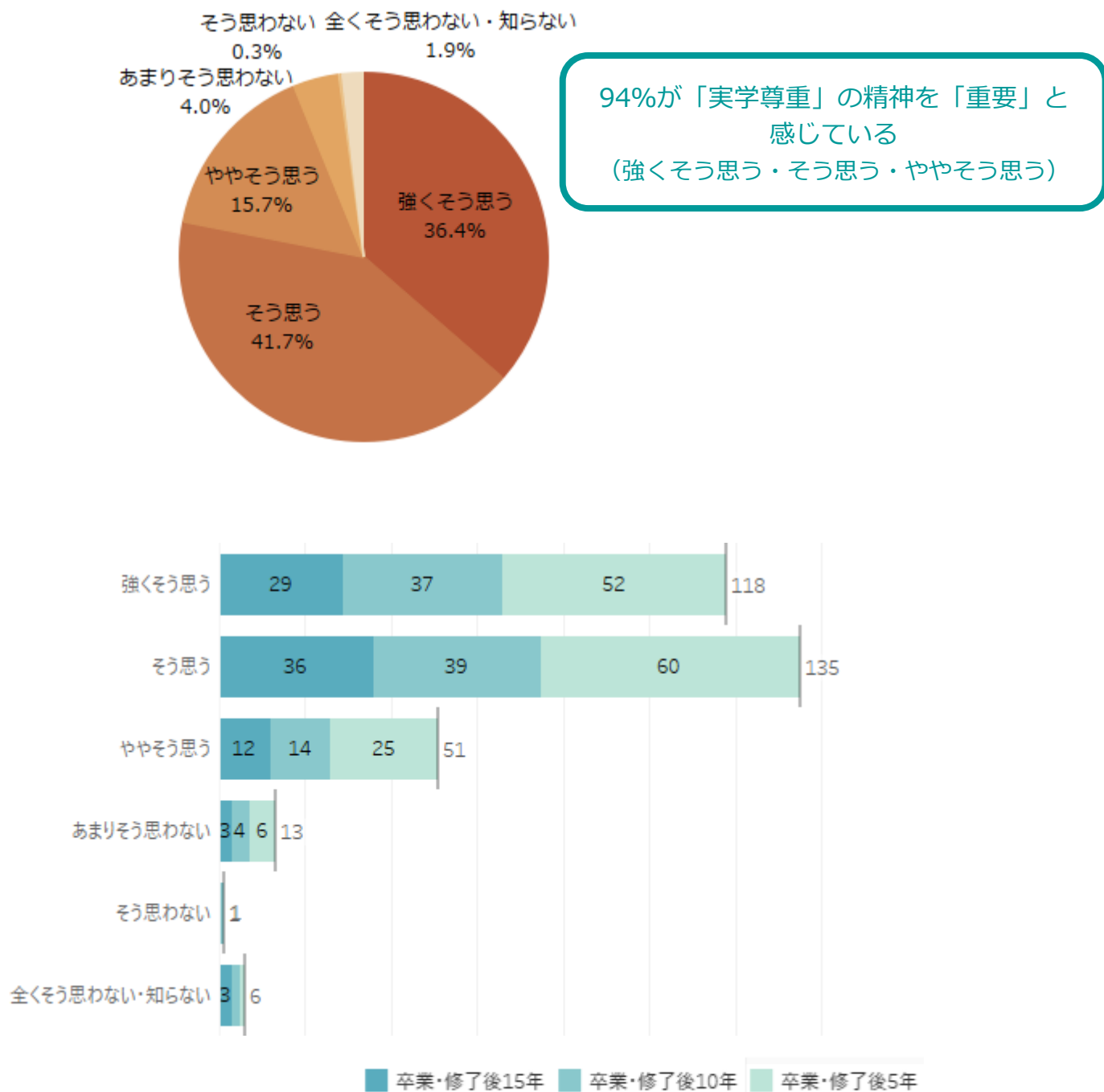
問 9 ご自身の大学生生活を振り返ってみて、本学に対する総合的な満足度はどの程度ですか。



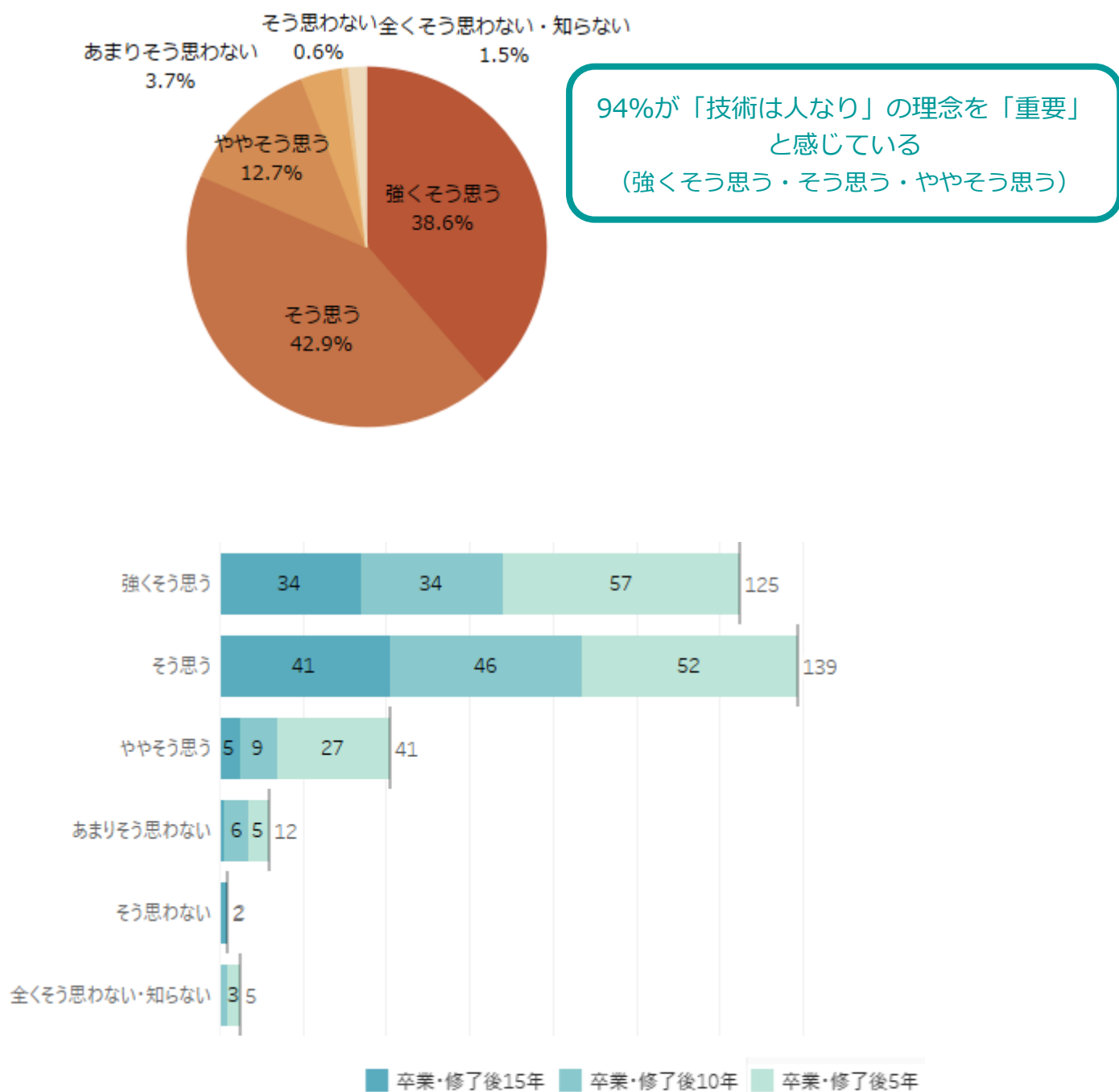
91%が本学に対して「満足」と感じている（大変満足・満足・やや満足）



問 10 「実学尊重」の精神は、今も重要だと思いますか。

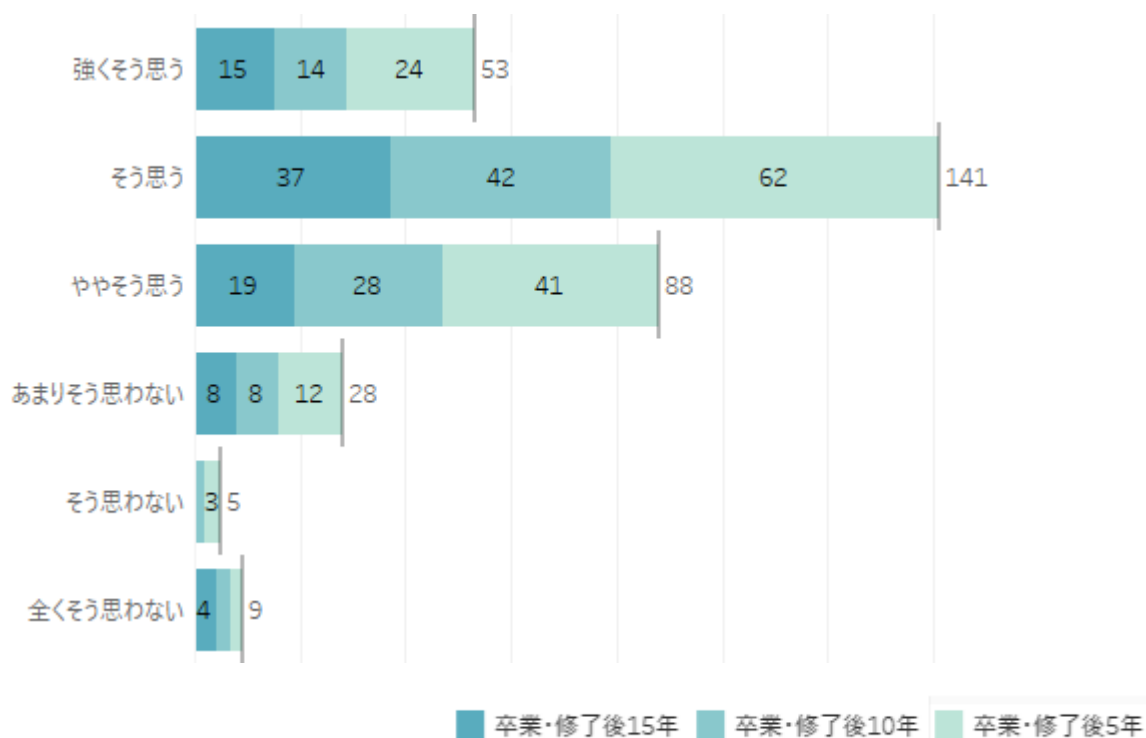
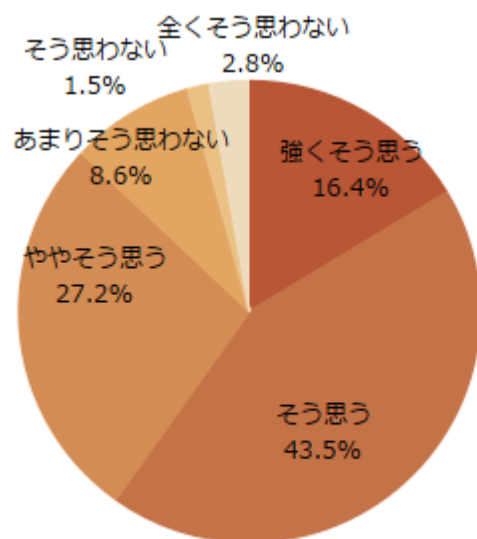


問 11 「技術は人なり」の理念は、今も重要だと思いますか。

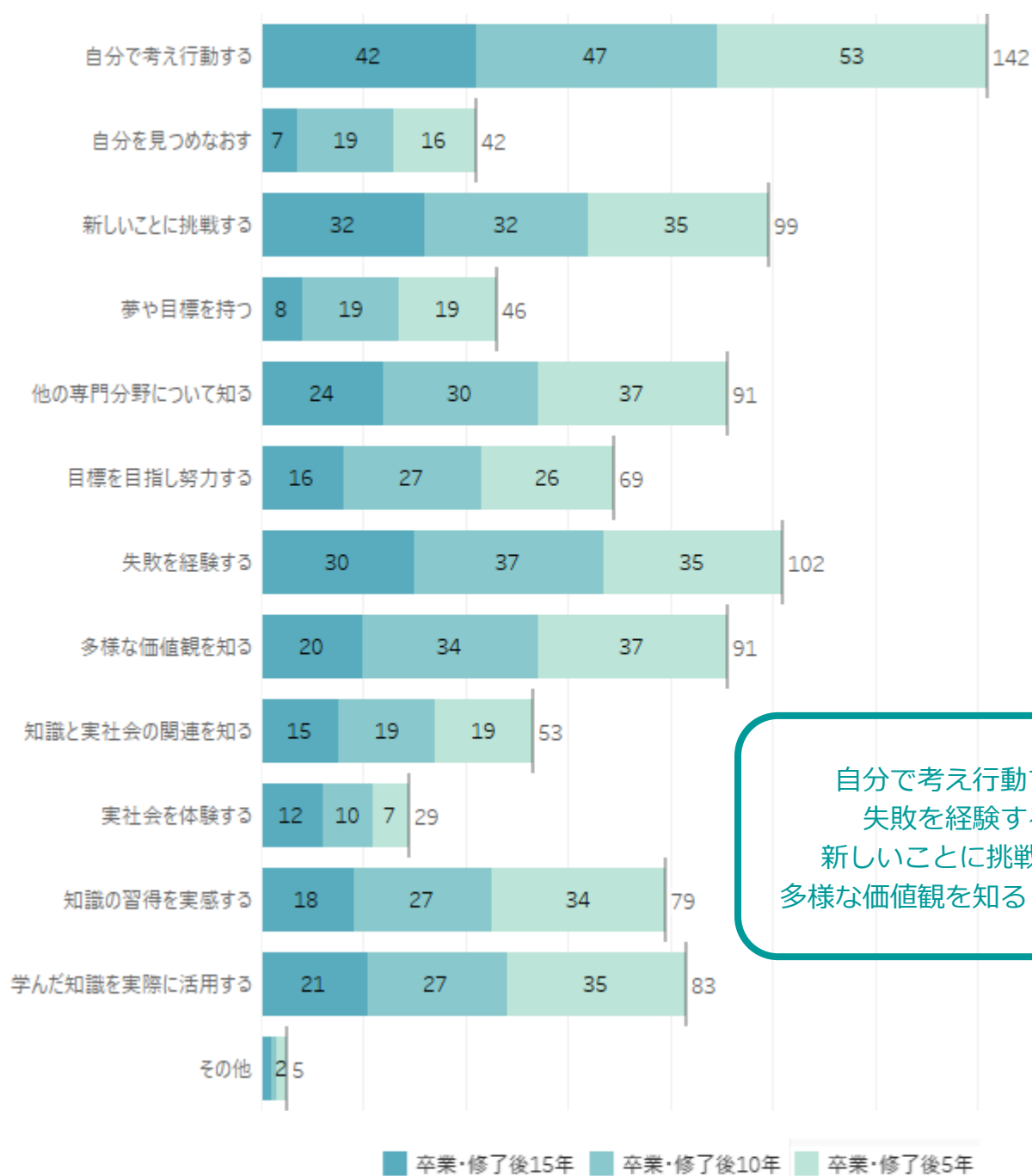


問 12 本学に誇りを持っていますか。

87%が本学に誇りを持っている
(強くそう思う・そう思う・ややそう思う)



問 13 学生時代に経験したことで、印象に残っていることは何ですか。(複数回答可)

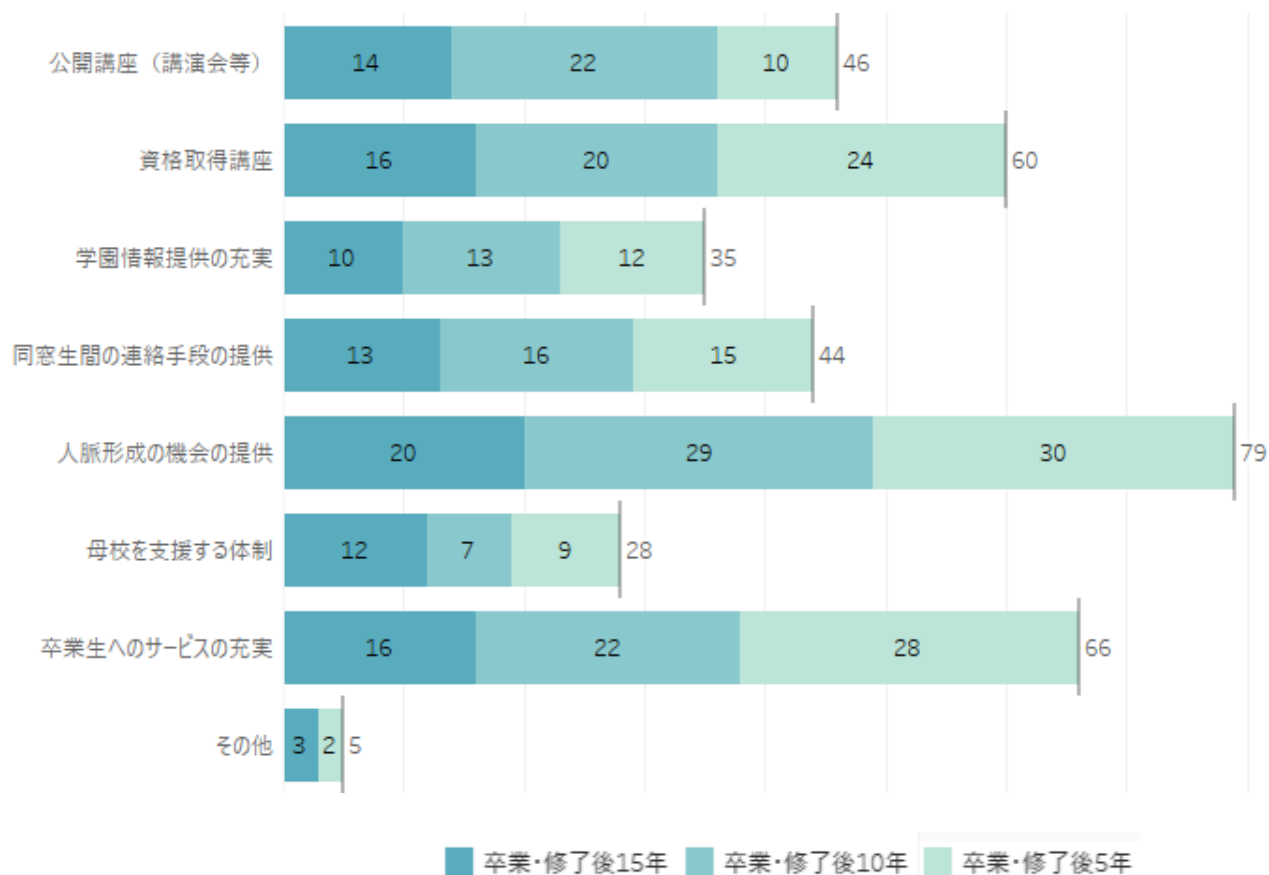


自分で考え行動する
失敗を経験する
新しいことに挑戦する
多様な価値観を知る が上位

「その他」の回答

挫折、それまで積み重ねたものが壊れた後に、短期間で別の方向性を模索し、知識の input/output を行う。若いっていいですね／指導教員から酷いアカデミックハラスメントを受けたこと／手書き修正不可の実験レポート

問 17 校友会に期待するものをいくつかもお選びください。



「その他」の回答

SNS／会社単位に OBOG 会を作ってほしい／現在、大学で行っている授業を卒業生も受けられる体制づくり／冊子の送付をやめてほしい／卒業生にも施設を（高額だと悩みますが、有償で構わないので）使っていただけたらうれしいです

人脈形成の機会の提供 卒業生へのサービス充実
資格取得講座 公開講座（講演会等） が上位

(自由記述の設問)

問14 学生時代に特に大切だったと思うものは何ですか。

卒後15年の回答の抜粋

実習による電気回路の実動作を確認することができた点。座学では見逃してしまう点を学生時代に出来たのは社会に出て大きく役にたった。

座学だけでなく、実際にモノに触れて学ぶ事。机上と現実で合うことと合わない事があることを理解し、その要因を考える姿勢を持つ。

自分で考えて実践すること授業も厳しい部分もあったが自分で考えてさまざまな課題、問題解決に取り組めたのはよかった。

企業勤め経験のある教授からの社会での体験などからの学びや考えを聞く機会

実験などでグループワークが多かったので、協調性が大切でした。

実験のレポートが大変だったが役には立っていると思う。

卒後10年の回答の抜粋

卒業研究は一種の会社勤務の練習であったと実感しています。仕事は一人では完結せず、時には苦手な分野、人ともうまくやらなければならない。加えて、技術とは何か技術者とは何かという答えが分かれる内容について自分なりに答えを出す良い練習の場だったと考えます。

研究室、研究所等で目標とスピード感を持って、物事をこなす癖を身につけられる環境で過ごすこと。社会人の最初の数年を乗り切るベースになりました。

部活動の中で体験した技術や考えて形にする経験。それらを他者と共有して進めたコミュニケーション等。

モノづくり（講義内外）で自分のアイデアを形にし、失敗して改善する経験

電子技術研究部での経験は、現在も活きていると思う

大学の友人が、今でも関わりがあるのは大きいと思います。

卒後5年の回答の抜粋

就職活動の時に特に感じたが、人脈や人と助け合うことは重要だと感じた。いろんな人と情報共有をしたり、人に相談している人の方が、就職活動を楽しんできていたと思う。また、そのような人の方が、志望する会社に行けていたと感じた。

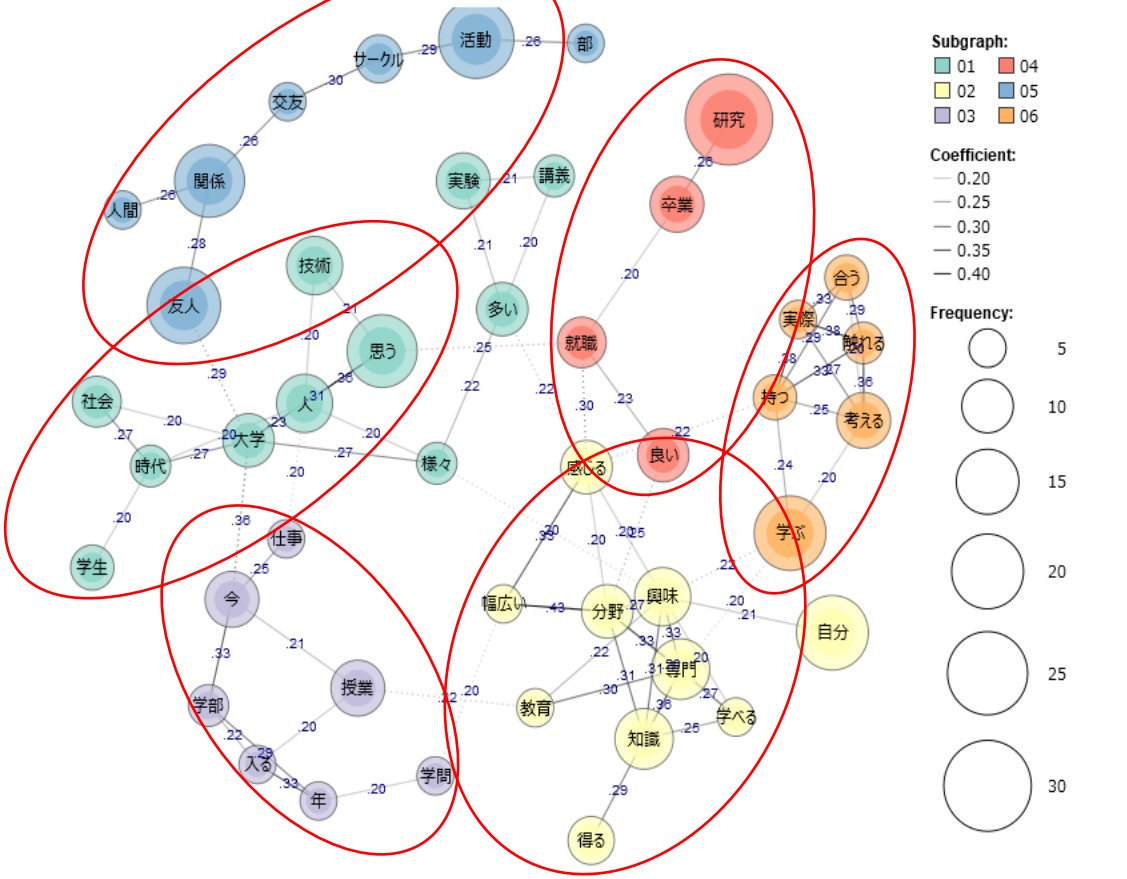
ワークショップや実験など、自分の手を動かして学ぶ機会が今も活きている卒業研究（学部・修士）で学んだことが就職後も活きている。

専門知識ではないですが、基本的なパソコンのスキルやオフィスソフトの操作を学べたのは社会人になってから大きかったです。

勉強関係では技術的知恵の習得と研究活動、人格形成ではサークル活動が大切だと思います。

KH Coderを利用した共起ネットワークによる分析

(単語が共通に出現する関係を線で表示した図。円の大きさは頻出数に比例して大きくなり、線上の係数の高さが関係の強さを表す)



【概説】
「研究」「活動」「友人」「学ぶ」「自分」「関係」「思う」が頻出。
「研究」「卒業」、「友人」「関係」、「活動」「サークル」、「学ぶ」「考える」「持つ」、「知識」「専門」「分野」「興味」が共起している。

学生時代に特に大切だったと思うもの

- 卒業研究
- サークル活動
- 自分の興味
- 友人関係
- 学ぶ・考える

（自由記述の設問）

問15 大学時代にもっと学んでおけば良かったと思うことや、取得しておけば良かったと思う資格は何ですか？

卒後15年の回答の抜粋

電気系でしたがゴルフなどの運動系、化学系・心理学等の専門外の授業を受けておらず、せっかくの機会を逃し勿体ないことをしたなと思っています。

教職課程。単位が足りなくなりそうだから卒業出来る単位をとるために教職は諦めなさいと助言頂き、卒業は出来たがちゃんとやれば良かったと最近思っていたところです。

自学科の内容の深掘りと他分野の知識。設計や加工は知識よりも経験が勝る部分が多いため、決まったテーマではなく様々な要件で実習できたら良かったと思う。いろいろ試せるチャンスを逃したと感じている。

海外との交流。今はマネージャーとして、日本人以外の部下を持っており、普段の業務はほぼ英語です。時間がたっぷりある大学時代にもっと海外へ行っておけばよかった、それも長期でと思います。

資格全般、教論、インターン(ただ自分は単位を落としていたので厳しかったかと)

様々な業種があることを大学時代に知る機会があれば、就職活動の幅が広がっていた。

卒後10年の回答の抜粋

数学と物理です。自分は情報系だったので、あまり電気系の授業を受けていませんでした。就職先が電力インフラ機器を作っている会社で、ハードウェアの知識が必須で苦労しました。学生時代はハードウェアの詳細を知る機会があまりありませんでした。そのため、学生さんに実際の社会の開発ではソフトウェアだけでなく、ハードウェアも重要であることを知ってもらう機会を作ることも良いと思います。

とにかく英語です。会社でもAI導入は進み、翻訳制度は上がっていますが、英会話と技術英語ができない限りは、海外拠点がある会社でも本格的に関わる機会を得るのは難しいです。

プログラムはもっと深いところまで学んでいた方が社会で通用する技術者になっていたのかと想像することはあります。制御や回路設計も学んでいた方が良かったと反省しています。

設計全般について時間をかければ良かったと思う。時間があるならばCAD利用技術者や技能士、設計技術者の資格について挑戦しておけば良かった。

卒後5年の回答の抜粋

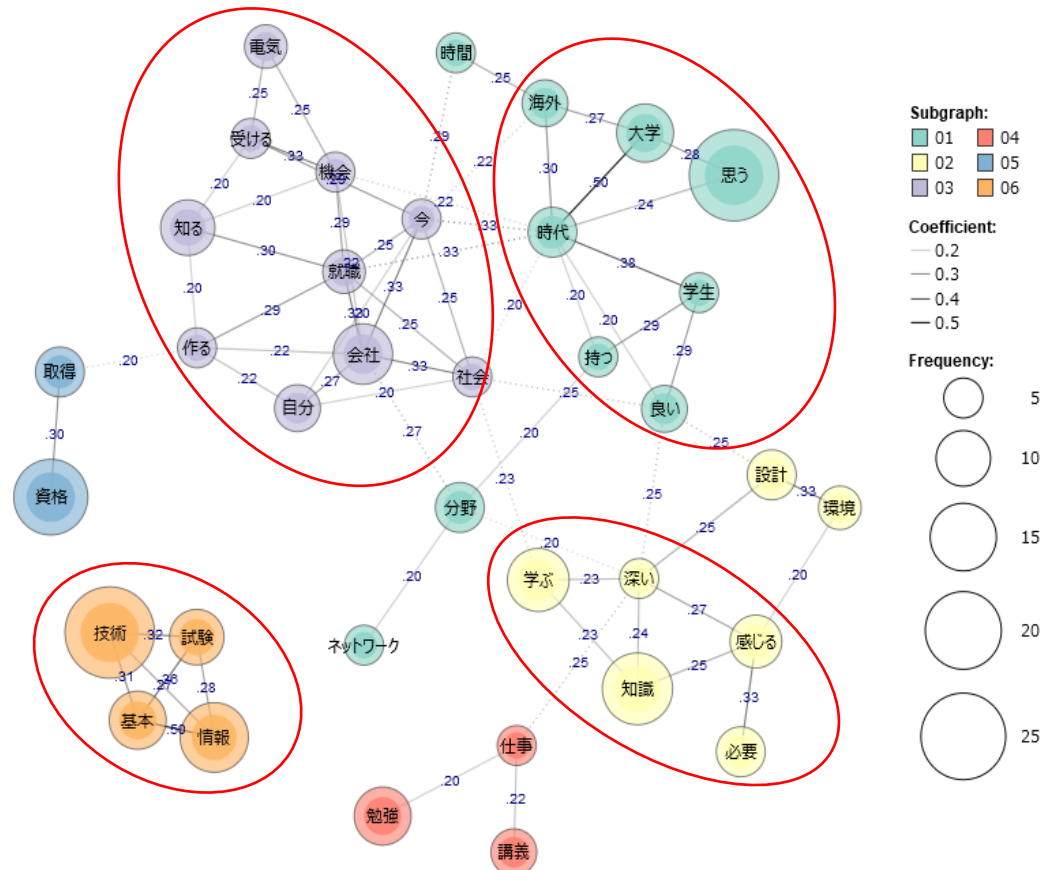
社会や会社の仕組みについて学ぶべきだったと考えています。会社での人間関係は大学でのサークルやインターンシップとも大きく異なり、利害関係を意識した立ち回りを求められました。

基本情報技術者試験は大学時代に取得しておいても良かったと思う。また、海外出張などもあるので、英語や中国語、ベトナム語などの語学もっと力を入れたかった。

検査業務に携わるので危険物・毒劇物の管理にかかる資格を取得できていれば良かったと思う。

KH Coderを利用した共起ネットワークによる分析

（単語が共通に出現する関係を線で表示した図。円の大きさは頻出数に比例して大きくなり、線上の係数の高さが関係の強さを表す）



【概説】
「技術」「情報」「思う」「資格」「知識」「会社」という語彙が頻出。
「技術」「情報」、「資格」「取得」、「知識」「学ぶ」等の組が共起している。

大学時代に学んでおけば良かったもの、取得しておけばよかった資格

- 基本情報技術者試験
- 大学時代の海外経験
- 語学の必要性
- 会社・就職を知ること
- 資格取得

（自由記述の設問）

問16 あなたが、今後、大学に期待することは何ですか。

卒後15年の回答の抜粋

IT系企業じゃないと、1から環境構築などをしなければならないし、チーム開発のノウハウもないので大変だった。大学4年で卒業研究が開始されるが、大学3年までに環境構築やチーム開発のノウハウの教育などをしてはどうか。

実習などが実際の仕事などにどのように関わるのか、実例をあげながら教育をされると、意味のあるものになると思う。当時は電磁気実験などをしても、これ意味あるのかと半信半疑だったため。

今の時代、学生も社会人になっても叱られることが少ないため、仕事に対する責任感が薄い。そのため、責任感ややる気を自発的に啓発するような活動

就職活動の支援。学生は無知なので、職業の具体的業務内容や選択肢を提示したり、インターンやOB訪問の機会創出などが考えられます。

工学系でもコミュニケーション能力は必要です。共同で行う実験等必修科目に多く取り入れ、他者と何かを進める経験をして下さい。

計算、解析技術がかなり進歩しているが、それを現実の課題と結びつけて考えられる人材の教育。

卒後10年の回答の抜粋

技術や講義等の充実さはもちろん、インターンや様々な会社に出会うきっかけがあると、在校生にとってよりいいなと思います。

座学は程々に、色々と実地と自主的に動ける環境を用意して自走できるようにしてあげて欲しいです。悲しいことに日本の有名企業でも年功序列の村社会が大半なので、丸投げされて0の状態でも、何とか進める力を持って欲しいと思います。そのマインドがあれば転職も怖くないと思います。

幅広い学習と専門性に囚われない柔軟さを持った学生の育成に期待しています。それが日本を良くする技術者を創るのだと感じています。

ものづくり（デバイス）の価値が希薄化しAIやソフトウェアが重要となっているが、薄膜や電池、素材といった分野の進歩はまだまだ進んでいくので企業や国との連携に力を入れていく事で大学の理念を体現して欲しい。

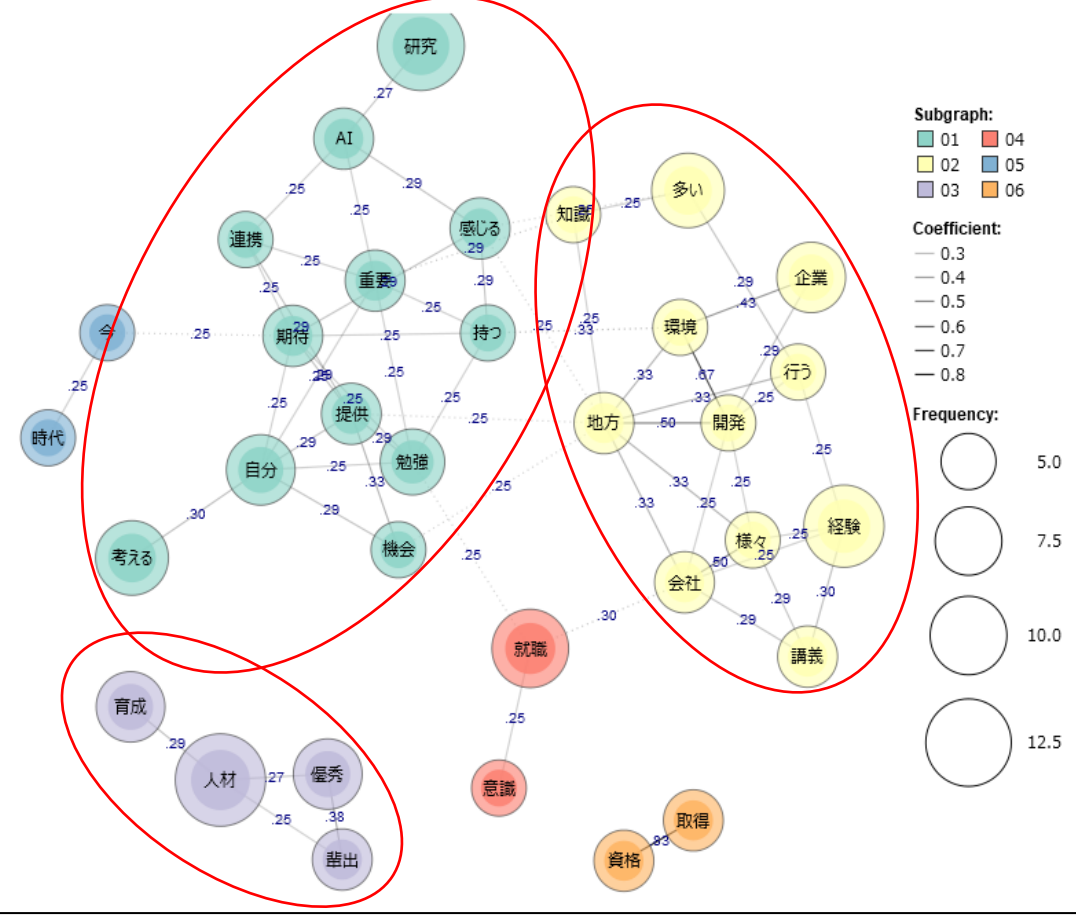
卒後5年の回答の抜粋

弊社では電大生に対して、基礎知識のレベルが高く、貪欲で真面目に取り組む学生が多いと評価されています。教育内容を時代に合わせて変化することも大切かとは思いますが、温故知新のように古くから続けられている教育を守り、継続することも重要だと思います。変化ばかりを追いかめた教育にしない事を願っております。

技術は人なりを体現して行ってほしい。結局はどんなに技術力があっても人として信頼されていなければ、社会で重宝されづらいと思う。

KH Coderを利用した共起ネットワークによる分析

（単語が共通に出現する関係を線で表示した図。円の大きさは頻出数に比例して大きくなり、線上の係数の高さが関係の強さを表す）



【概説】
「人材」「研究」「就職」「経験」「考える」「自分」が頻出。
「研究」「AI」、「人材」「育成」、「就職」「意識」、「経験」「講義」が共起している。

今後、大学に期待すること

- AI研究
- 講義での様々な経験
- 人材育成・輩出
- 勉強の機会の提供
- 企業・地方との連携

＜令和 7 年度 卒業生（既卒者）アンケート調査についての総括＞

卒業生（既卒者）へのアンケートについては、令和 3 年度より調査項目および調査対象を見直し、web でアンケート調査を実施した。

回答率は、さほど高くないが、卒業生の現況（勤務状況、海外での仕事経験、転職経験）や、本学に対する満足度、意見等について調査することができた。

今回の調査では、海外での仕事経験がある卒業生の割合は 13.6%、大学時代に学んでおけば良かったことについては、英語・語学との意見が多かった。取得しておけば良かったと思う資格については、電気系・情報系の各種資格であった。また、大学に期待することとして、企業や地方との連携、質の高い研究・教育、柔軟な思考を持つ学生の育成、などが挙げられた。本学においては、今後、語学教育、実学教育の実現、資格取得のさらなる推進、質の高い研究・教育の検討が求められる。

このように様々な意見がある中、大学に対する総合的な満足度に関する回答においては、91%が本学に対して「満足」と感じており、87%が本学に誇りをもっているなど、高い満足度が示された。

本調査については、今後、回収率を上げるとともに、卒業生アンケート（卒業・修了時に実施）、新入生アンケート等とも連携の上、様々な側面からの分析を実施し、大学運営、教育改善について検討することとしたい。

以 上